

# 品質性能試験報告書



一般財団法人 建材試験センター  
中央試験所長 真野 孝次  
埼玉県草加市稲荷5丁目21番20号

試験名称 建築窓ガラス用フィルムの性能試験

依頼者 \* \* \* \* \* (会社名)  
\* \* \* \* \* (住所)

目次	1. 試験の内容	-----	2
	2. 試験片	-----	2
	3. 試験方法	-----	2
	4. 試験結果	-----	3
	5. 試験期間, 担当者及び場所	-----	4

## 1. 試験の内容

\*\* \*\* 株式会社から提出された建築窓ガラス用フィルム「\* \* \* \*」について、光学性能・熱性能試験を行った。

## 2. 試験片

試験片の概要を表 1 に示す。試験片の詳細は依頼者提出資料による。

試験片は、厚さ 3mm のフロート板ガラスに、建築窓ガラス用フィルムを貼付したものである。

表 1 試験片概要

一般名称	建築窓ガラス用フィルム
種類	* * * * *
材質	* * * * *
商品名	* * * * *
寸法	* * mm × * * mm
数量	1 体
備考	フィルムは、* * 貼りとした。

## 3. 試験方法

試験は、JIS A 5759（建築窓ガラス用フィルム）に従って、分光光度計を用いて各波長の分光透過率、分光反射率を測定し、紫外線透過率、可視光線透過率、可視光線反射率、日射透過率、日射反射率、遮蔽係数、日射熱取得率及び熱貫流率を求めた。また、分光透過率及び分光反射率の測定結果を用い、(1)式より日射吸収率を求めた。

垂直放射率は、波長範囲 5.5 $\mu$ m～25 $\mu$ m の分光反射率を測定し、JIS R 3106（板ガラスの透過率・反射率・放射率の試験方法及び建築用板ガラスの日射熱取得率の算定方法）の附属書 JB（規定）常温熱放射の波長域における分光反射率及び分光透過率の測定方法並びに垂直放射率の算定方法の JB.2 垂直放射率の算定方法に従って求めた。

なお、垂直放射率の計算において、波長範囲 25.2 $\mu$ m～50.0 $\mu$ m の分光反射率には、波長 23.3 $\mu$ m の値を用いた。

$$\alpha_e = 100 - \rho_e - \tau_e \quad \dots \dots \dots (1)$$

ここに、 $\alpha_e$  : 日射吸収率 (%)  
 $\rho_e$  : 日射反射率 (%)  
 $\tau_e$  : 日射透過率 (%)

試験所長の文書による承認なしでは、完全な複製を除き、一部分のみを複製してはならない。

## 4. 試験結果

光学性能・熱性能試験結果を表 2 に、分光透過率及び分光反射率の測定結果を図 1 に示す。

表 2 光学性能・熱性能試験結果

項 目		結 果	
紫外線透過率	$\tau_{UV}$ (%)		***
可視光線透過率	$\tau_V$ (%)		***
可視光線反射率	$\rho_V$ (%)		***
日射透過率	$\tau_e$ (%)		***
日射反射率	$\rho_e$ (%)		***
日射吸収率	$\alpha_e$ (%)		***
室内側 (フィルム貼付面)	垂直放射率 $\epsilon_{mi}$ (—)		***
	修正放射率 <sup>a)</sup> $\epsilon_i$ (—)		***
室外側 (ガラス面)	垂直放射率 $\epsilon_{ne}$ (—)		0.89 <sup>b)</sup>
	修正放射率 <sup>a)</sup> $\epsilon_e$ (—)		0.837
遮蔽係数	$S$ (—)		***
日射熱取得率	$\eta$ (—)		***
熱貫流率	$U$ [W/(m <sup>2</sup> ·K)]		***
注 a) 修正放射率は、JIS A 5759 表 15 に規定する係数によって換算した。			
b) JIS R 3106 附属書 JB の JB.2.1 による。			

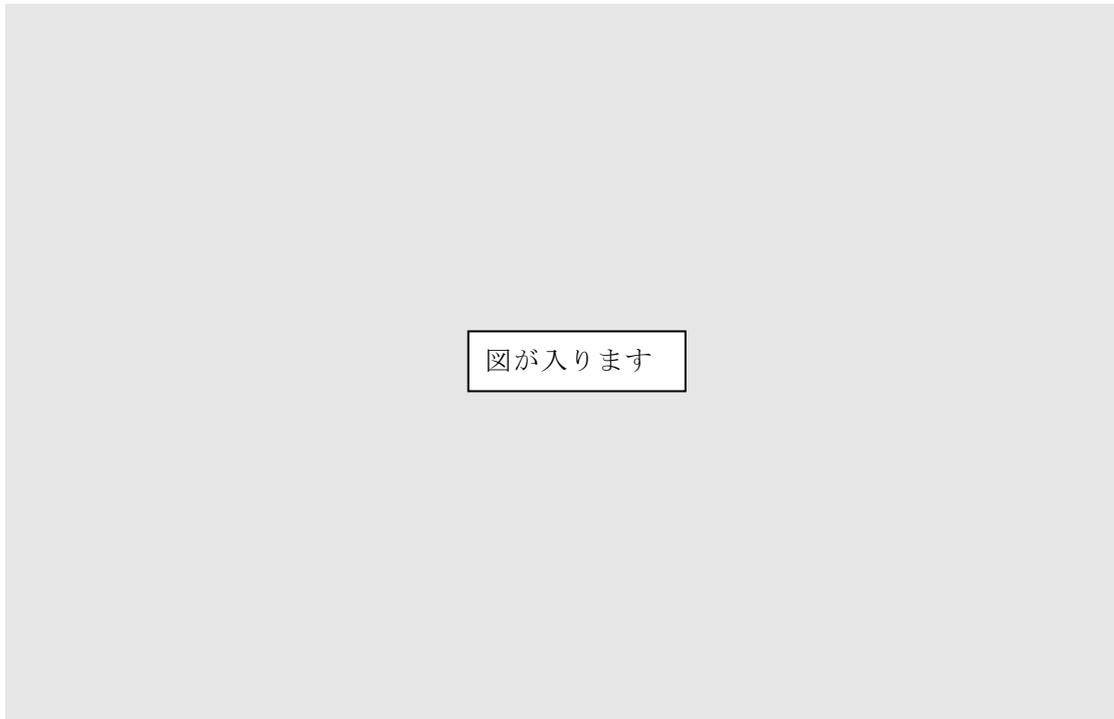


図 1 分光透過率及び分光反射率測定結果

5. 試験の期間，担当者及び場所

期 間            \* \* \* \* 年 \* \* 月 \* \* 日

担 当 者        環境グループ  
                 統括リーダー        \* \* \* \* \* \*  
   \* \* \* \* \* \*  
   \* \* \* \* \* \*        (主担当)

場 所            中央試験所 (埼玉県草加市稲荷 5 丁目 21 番 20 号)

以上